



平成 28 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社日本製鋼所  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 育男  
コ ー ド 番 号 5 6 3 1 東証・名証第 1 部  
問 合 せ 先 総 務 部 長 菊地 宏樹  
電 話 : 03-5745-2001

## 第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 16 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

### 記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における連結業績予想と実績の差異  
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 110,000	百万円 5,000	百万円 5,000	百万円 3,000	円 銭 40.82
実 績 値 ( B )	107,039	7,346	7,368	5,110	69.53
増 減 額 ( B - A )	△2,961	2,346	2,368	2,110	—
増 減 率 ( % )	△2.7	46.9	47.4	70.3	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	94,667	5,012	5,321	3,165	43.09

※ 平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 5 株を 1 株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績の差異理由

素形材・エネルギー事業の売上高は当初予想を下回った一方、樹脂製造・加工機械の需要拡大などにより産業機械事業の売上高が当初予想を上回ったことに加え、コスト改善により、全体として営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加いたしました。

以上